

学校行事参加型+講演会型（中学校）

学校名等	恵那市立上矢作中学校
実施日時	平成30年2月3日(土)14時～15時
会場	中学校内 ワークスペース
参加人数	全校生徒とその保護者
学習課題(分野)	動物から学ぶ健康と命(命の大切さ)
運営者の願い	現代の社会状況をふまえ、家庭教育9項目の1つ「命の大切さ」を親子で考える機会をもってもらいたいと思います。

学 習 の 内 容

<授業参観>

※授業参観が終わり次第、生徒は椅子を持ってワークスペースへ集合する。

<開会>

- 1 母親委員長挨拶
- 2 開会の言葉(母親委員)
- 3 講師紹介(母親委員)
- 4 親子講演会(1時間)

テーマ：動物から学ぶ健康と命

～犬は保健所へ行くとうなるの!?～

講師：今尾 幸穂 氏(恵那保健所 獣医師)

エマちゃん(セラピードック)と飼い主の坂本さん

※講話の時間とは別に、エマちゃんとの交流の時間がある。

- 5 感想交流(母親委員)
⇒生徒3名(挙手)と保護者1名(指名)
- 6 お礼の言葉(PTA会長)
- 7 花束贈呈
- 8 閉会の言葉(母親委員)

<閉会>

<学年懇談会>

※各学年1クラスのため、クラス懇談会を兼ねる。

<役員決め>

※来年度の役員を決める。

<アンケート(感想用紙)より>

- とてもわかりやすく心にグッときました。うちにも犬がいましたが、お話を聞いて申し訳なかったと思い子どもと話しました。家に帰り話題にできる内容だと意義があると思います。(保護者)
- (中略)エマは5歳で、坂本さんの家に来てまだ1年半と聞きました。飼うことができなくなった家から貰い受け、24時間一緒にいて、あれほどまでに賢い犬になったそうです。「もう遅いってことはない」と言い、信頼関係と愛情があればまだ大丈夫なのだと思います。わが家の犬を家に帰って真っ先にギュッと抱きしめたとき、とても大切なものに改めて気づかせてくれた命の授業だったなと思いました。(保護者)
- 薬物などの身体への害や依存度の話子どもたちが聞くことができとても良かったと思います。中学を卒業したら今までより活動範囲も情報も広がるので、今日聞いたことをしっかり覚えてほしいと思います。動物の話聞いて、命の重さ、限りある命について改めて考えさせられました。ありがとうございました。(保護者)
- (中略)びっくりしたことは、動物でも果実を食べて酔ったり、タバコを吸って依存症になったりすることです。今回の講話は命の大切さを改めて感じるこのことのできるすてきな時間でした。(中学3年生)



セラピードックのエマちゃんは、絶対吠えたり咬んだりしないように、しっかり訓練を受けています。
人に触られるのが大好きな犬種が、セラピードックに向いているそうです。



必要なことがぎっしり詰まった半日になっています。

- 1 授業参観
- 2 親子講演会
- 3 学年懇談会
- 4 新役員決め

と、日にちを分散させず、内容を凝縮させることで参加しやすくなります。必要なことを確実に伝えたり決めたりする工夫と言えます。



母親委員の主催者としての意識が高く、開会から閉会まで全て母親委員で分担し、進行されました。保護者席とは別の場所に母親委員全員の席が設けられていることも意識が高まる工夫のように感じます。

全体の雰囲気がとても和やかで温かく、普段からの信頼関係が講演会を聞く姿勢にもつながることを感じさせられました。